

千日前通高架下の景観整備

平成8年3月 大阪市建設局



高架下空間は日照が得にくく、また、雨が降り込みにくいことから、暗く乾燥した空間になるといった景観的な問題や、また、ヒューマンスケールを超えた高架そのものの存在により、圧迫感を歩行者に与えるといった心理的な問題なども抱えていた。

本業務では、大阪の主要東西軸である千日前通（四つ橋筋～大正橋）を対象に、高架下空間の修景とバス停並びに街園部の景観整備について、デザイン検討及び実施設計を行った。

高架下の整備については、コストの削減、現地での工事期間の短縮等を目的として、PCを基本とした構造を採用している。

keywords

- 高架下中央分離帯景観対策デザイン・設計
- バス停景観整備のデザイン・設計
- 街園部景観整備のデザイン・設計

